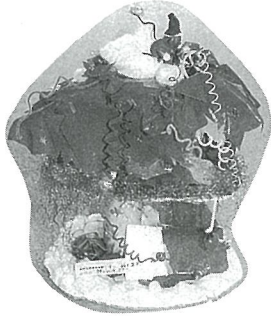




4年1組  
鈴木夏実さん

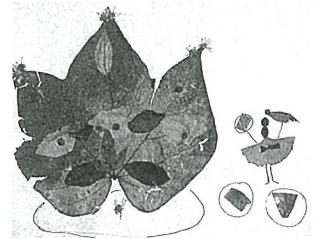


『願いの滝タワー』

※最初の構想とはちがうものになったけどモールやくまの人形をつけて工夫した。



1年1組  
向後夏紀さん



『あきのケーキ』

※あきのケーキは、だれにあげるのかな。わたしもいつしよにたべたいな。

あつまれ みんなの力作



『お話の絵』



5年2組  
伊藤裕也君

※がんを生き生きと描くことができました。翼のぬり方を工夫しました。



『みんなのどうぶつえん』

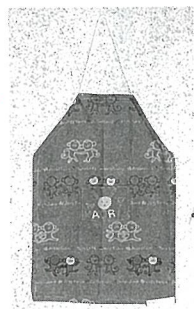


2年  
林 成美さん

※まわりのお花は、おり紙で作りました。ダンボールを切る時は力が入りました。



6年2組  
越川香利さん

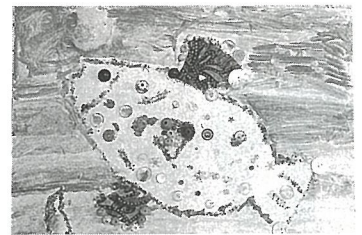


『私のエプロン』

※ミシンで、まわりを縫うのがむずかしくて大変だったけど、よくできました。



3年1組  
石川友美子さん



『魚のたん生』

※いろいろな材料を利用して海の中の様子をあらわしました。

ひかり俳壇



越川せつ子(篠本) 子と孫と人のぬくもり秋灯下

戦後の日本から消えた一家団欒。人間形成の原点とも言える光景がここにはある。

伊藤 幸枝(尾垂) 日の匂い残る電柱赤トンボ

今年はずの他残暑が厳しく長かった。そんな或る日、晩秋を告げる赤蜻蛉を発見した。

鈴木とし子(宝米) 晩秋や農捨てきれぬ老夫婦

国策か世相か、農一筋に生きる覚悟は老人のみ。瑞穂の国日本の行く末が案じられる。

伊藤 定男(尾垂) 秋深し軍馬の嘶夢に聞く

山崎 てい(二又) 晩秋の霧の中なる塔灯る

椎名 静子(二又) 秋うららジャングルジムに子の歓声

川島 重一(尾垂) だしぬけに大八車の甘藷に遭う

短評 椎名しげる

評者吟 夕茜大地染めたる暮の秋